

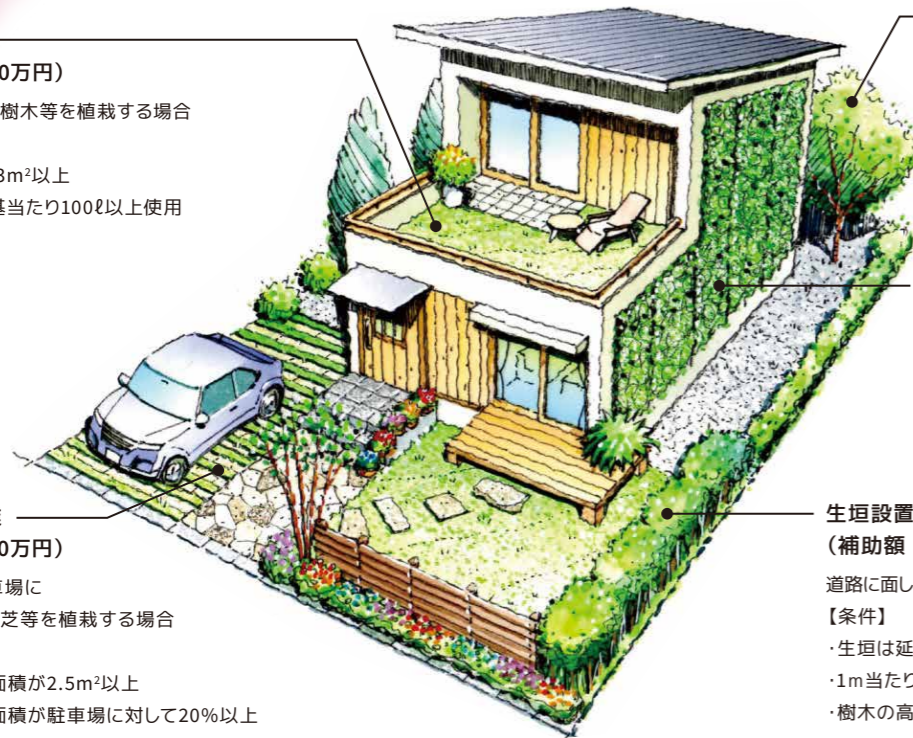
刈谷市民有地緑化補助事業

市内の民有地の緑化の推進を図り、緑にあふれ、うるおいとやすらぎを与えるまちとなるための補助事業です。補助金を活用して自宅や職場に緑を増やしませんか？

詳しくはこちら



屋上緑化事業
(補助額：上限50万円)
建築物の屋上等に樹木等を植栽する場合
【条件】
・緑化対象面積が3m²以上
・プランターは、1基当たり100ℓ以上使用



空地緑化事業
(補助額：上限10万円)
住宅や店舗、駐車場等に樹木を植栽する場合
【条件】
・高木(2m以上)1本以上もしくは
低木(50cm以上2m未満)3本以上

壁面緑化事業
(補助額：上限25万円)
建築物等の道路に面した壁面に樹木等を植栽する場合
【条件】
・緑化対象面積が3m²以上

駐車場緑化事業
(補助額：上限10万円)
住宅や店舗の駐車場に保護資材と併せて芝等を植栽する場合
【条件】
・芝等による緑化面積が2.5m²以上
・芝等による緑化面積が駐車場に対して20%以上

生垣設置事業
(補助額：上限7万5千円)
道路に面した所に生垣を設置する場合
【条件】
・生垣は延長3m以上
・1m当たり2本以上植栽
・樹木の高さは90cm以上

ともに育てる、刈谷の緑

市民協働による公園の緑化活動

刈谷市には、多くの公園が設置されており、まちなかの緑を形づくっています。令和7年3月に市内で1番新しい公園として開園した三豊公園^{さんぽうこうえん}は、地元住民によるワークショップで決定された「緑・健康・多世代」の3つのキーワードを軸とした地域に寄りそう“豊か”な公園です。オープニングイベントでは、市民・行政による植樹と芝張りが行われ、市民の憩いの場^{あそびのひろば}となっています。また、相生公園^{あいおいこうえん}では、刈谷市に拠点を置く企業、市民、行政の手で定期的な花植えが行われ、彩り豊かな花々が訪れる人の心を和ませています。このように、市民・企業・行政が一体となって身近な緑を育てる活動が広がっています。

三豊公園



芝張り



現在

相生公園



花植えの様子



2026.Mar

かりや 景観あぽーと

Kariya
Landscape
Report

Vol.
33

Kariya Landscape Report



「まちなかの緑」を景観から読み解く

まちなかにある緑は、都市にうるおいやゆとり、やすらぎをもたらし、歩く人に季節の彩りや自然の息づかいを感じさせます。街路樹、公園の花壇、住宅のプランター、店舗前の植栽など、日常の風景に溶け込む緑は、人々の心を和ませ、まちに親しみやすさをもたらします。

普段何気なく通り過ぎていたわたしたちのまちにも、緑がいきいきと存在しています。緑を意識し足をとめてみれば、その姿を見つけることができます。こうした「まちなかの緑」を景観の面から読み解いていきましょう。

景観とは

建物や自然などの眺めであり、目だけでなく五感を通して感じられることや、これらによって呼び起こされる心象風景も含めた、私たちがその場から感じ取るものの全体像です。まちには長い年月を経て、地形、歴史、土地利用、暮らしなどが培われてきていて、これらの要素が組み合わさってその地域固有の景観をかたちづくっています。これらひとつひとつの要素をひも解きながら、その地域らしい景観を再発見していきましょう。



緑をさがす

まちなかの緑ある景観は、わたしたちにうるおいやゆとりややすらぎを与えてくれます。住宅のなかに駐車場などで空間ができて、まばらに見える場所でも、緑があることで街路としての連続性が生まれます。また、建物のまわりに緑を配置すれば、建物が周囲にやさしく馴染んでいきます。まずは、まちなかの事例をご紹介します。

01 建物の周辺に中高木を配置する

建物の周辺を緑で囲むことで、うるおいとやすらぎのあるまちなみがつくれます。無機質な建物の外観に適度な変化を与えることができます。

連続した植栽が近くを通る人にも快適な印象をもたらします。



歩道から目に入る植栽が、まちにうるおいと親しみやすさを加えています。

02 エントランスを緑で演出する

訪れる人をやさしく歓迎するような雰囲気がつくれます。季節の彩りを感じられる場となり、敷地全体の印象も明るく親しみやすいものになります。



クリニックの敷地に自然な形で緑を配置することにより、癒やしと親しみやすい印象を与えます。



レストランの雰囲気に調和したオリーブの植栽が、訪れる人をやさしく歓迎します。

03 オープンスペースに植栽を施す

まちかどやマンションの敷地の一部を緑化することで、都市のにぎわいに囲まれたまちなかに、ゆとりある空間をもたらします。また、人を惹きつける心地のよい場所となります。



手入れされた花壇によって、まちなみにゆとりをもたらし、まちを豊かにしています。

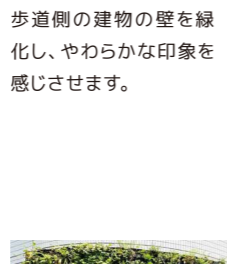
公開空地に緑とベンチを配置し、駅前の人通りの多い場所に落ち着いた空間を生み出しています。



04 壁面に緑を配置する

固い印象のある建物の壁に緑を加えることで、まちなみにやさしくやさしい空間を与えます。

歩く人の視界に入りやすい位置の壁面を緑化することで、歩行者空間を豊かにします。



歩道側の建物の壁を緑化し、やさしい印象を感じさせます。



緑化された建物の側面が、車通りが多い交差点にやすらぎを与えています。

緑をつくる

グリーンカーテンで彩る入口



遮光効果や冷却効果のあるグリーンカーテンや入口のプランターが店舗に彩りを与えています。

植栽によるやわらかな外観づくり



住宅の周りの植栽がやわらかな印象を与え、周辺の環境との調和が図られています。

プランターや植栽で玄関の周りを演出



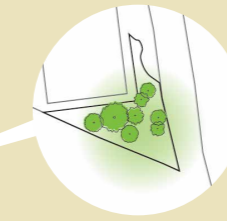
玄関周りの色鮮やかな花々が目を引きま。門扉内の植栽と相まって華やかな印象を感じさせます。



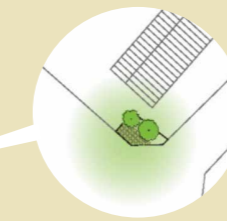
和風な建物にもカラフルな植物は調和します。紅葉する植栽を添えた、巧みな色使いです。

「角地の緑化」-効果的な敷地と緑の活用アイデア-

余りがちな角地空間も有効に活用できます。変形した敷地を逆手にとり、道行く人の目を引きつけることで、景観のポイントとなり、アイストップ*やランドマークとなります。



交差点にある不整形地に中低木の植栽が施されています。緑があることでアイストップ*となり、住宅が建ち並んだ場所にゆとりを感じさせています。



駐車場の角の植栽や緑化ブロックが、車の多い空間にやさしい雰囲気を与えています。通りの視線を和らげる効果があり、街並みに心地よいアクセントを加えています。

*アイストップ...人の目を引きつけるように意図的に置かれた建築物や樹木のこと